

渉外部会長に就任して

明治コンサルタント株式会社 仙台支店長

岩田 好史



はじめに

令和4年4月に東北地質調査業協会の広報委員会渉外部会長を務める事になりました明治コンサルタント株式会社の岩田好史です。

私は、令和2年4月に仙台支店への転勤により東北地方で仕事に従事することになりました。

こちらに来て仙台並びに東北各地の街並みを目にして震災からの目覚ましい復興と綺麗な景色に感動を覚えました。

東北に来てから新型コロナウイルスにより生活様式、仕事への従事の仕方などが変わり戸惑う部分もありましたが、最近では以前の生活に戻りつつもあります。

これからも東北地質調査業協会の一員として東北の発展に少しでも貢献出来る様努めて参りますので、何卒宜しく願いいたします。

自己紹介

私の出身地は愛知県名古屋市です。

愛知県は歴史的に三英傑（織田信長・豊臣秀吉・徳川家康）の出身地として知られています。

有名な城郭、神社仏閣も各地に存在し、金の鯨で有名な名古屋城、三種の神器の1つである草薙剣が祀られている熱田神宮などがあり、今も地域の人々に愛され続けている存在です。

ご当地グルメとして「名古屋めし」は全国的にも有名であり、ひつまぶし・味噌

煮込み・味噌カツなどこちらに来る機会がありましたら是非一度ご賞味ください。

また、愛知県は自動車産業など製造業の企業が多い地域でもあり、モノづくりの街、工業都市としての一面もある地域です。

私は大学卒業まで地元で過ごしました。

その後、就職に伴い東京に生活の場を移しこの地質調査業の業界には中途採用でお世話になることになりました。

この業界には営業職として採用になりましたが、地質調査に関する知識は無く、当初はボーリング調査の現場などに従事し地質調査の基礎知識などを学びました。

実際の現場での作業は今まで経験したことの無い体験の連続であり、体力的にも大変だったことを今でも記憶しています。

その他地下水などの観測業務や原位置試験なども経験し地質調査に関する様々な業務を経験出来たことはその後の営業職としての活動に大いに役立ちました。

その後営業職として営業活動に本格的に従事することになりました。

官公庁、民間企業を相手にした営業活動は当初は知識も浅く、経験も少ないことから相手担当者を前にして随分緊張をして説明をした覚えがあります。

また、最初は関東・首都圏が活動範囲であったため、官公庁などの場所や交通機関などを多く覚える大変さもありました。

10年程度関東での営業職に従事した

後、九州福岡へ転勤となり九州地区での営業職としての仕事が始まりました。

それまで九州には縁がなく、初めて生活する場所で新鮮な気持ちがありました。

九州では自動車移動が多くこちらの土地勘も無いため各官公庁の場所や道順などを覚えるのに苦労しました。

また、九州での営業活動は範囲が広く移動にも時間を要するので時間の使い方や体力的にも色々大変なものがありました。

九州は観光地として各地域に有名な観光地があり、営業活動の移動中にもその様な地域を目にすることが出来、日々の仕事の中での楽しみの1つとなりました。

九州は気象災害が多い地区でもあり、私が九州で勤務している間でも九州北部豪雨など色々な災害がありました。

九州北部豪雨では大規模な地すべりなども発生し、当時は緊急的に現場などへ行き観測業務などの手伝いなど行いました。

災害業務では迅速な対応、判断が求められるためこれらの経験は現在の業務にも非常に役立つものとなっています。

また、九州での在職時に現勤務先の明治コンサルタントに縁あって転職しました。

九州でも10年程度勤務し、その後また東京への転勤となり再び関東・首都圏で営業職の仕事に従事することになりました。

関東での仕事は以前に経験していたこともあり、スムーズに仕事に対応することが出来ました。業務の規模が大きくなり海上での地質調査業務など大規模な業務にも携わることが出来ました。

また、東京オリンピックなどの開催もあり、首都圏の街並みも10年程度前に比べて再開発が随分と進み以前とはまた違

う街並みがあり、首都圏の再開発の規模や早さを目の当たりにし驚かされました。

また、再生エネルギーに関する業務（風力発電等）にも従事する機会があり、これらに関しても環境を重要視した今の時代を感じるものがありました。

その後、現在の東北仙台に転勤しこちらの業務に現在も携わっています。

復興に関する業務の調査や災害に関する調査などを行ってきましたが、今後もそれらの業務などを通して東北の事業に貢献して行きたいと思っております。

また、東北も活動範囲が広範囲ではありますが、各地域に観光地とし有名な場所があり、仕事の合間にそれらを目にする機会を楽しみにしたいと思っております。

地質調査業務に携わって思う事

今まで地質調査業務の仕事に携わってきて感じることは、専門知識を駆使して様々な問題を想定し解決策を見出していく高度な業務であるという事です。

災害の現場では迅速な調査により原因を究明し対策案を立案し、また道路等の新設ではその場所の地形、地質などを明らかにする事によりその後の設計、工事に重要な役割を果たしているからです。

近年の気候変動などにより気象状況が激しく変化し災害が多発している状況においてその場所の地質リスクなどの把握は事前の対策、減災対策に非常に重要になってきます。

地質調査、地質コンサルティングを担っている当協会並びに会員各社の役割は今後も非常に重要であると思います。

よって今後も地質調査の重要性を協会活動などを通じて幅広く世間に広め、地質調査業の発展に貢献出来る様努めていきたいと思っております。

終わりに

これまで私は様々な地域で地質調査業の仕事に従事してきました。

今まで述べてきた通り各地域で災害などの問題を抱えており、それらの解決の1つとし地質調査業界が担っている役割は重要であり、その仕事に従事していることに誇らしさを感じています。

近年では人手不足や従事者の高齢化などにより地質調査業を取り巻く環境は厳しくなっております。

今後も協会活動などを通じ地質調査業の魅力を発信し、若い人達にも関心を持ってもらえる様努めて参ります。

また、地質調査業の仕事を通じて地域の安全と発展に少しでも貢献出来る様努力して参る所存でございますので、今後も皆様方からのご指導賜ります様、よろしくお願い致します。

以 上